

## 先生方の意識が学級・学習集団を変えます

私たち教師は、教職経験の年数にかかわらず、子どもたちとの関わりの中で、「この子どもたちにとってどんな先生であるべきか。この子どもたちのために何をすべきか。」等の決意や願いを抱き、持続させることが大切です。

さあ、子どもたちと共に歩む姿勢を示し、温かい人間関係で結ばれた学級・学習集団づくりに努めましょう。

あたりまえのことをあたりまえにしていますか！ 振り返ってみましょう！

### ☆ 一人一人の子どもを大切にしましょう！

- 一人一人のよさを認め、そのよさを伸ばすことに努めていますか。
- 子どもを信頼し、よき相談相手になるよう努めていますか。
- 子どもは、最初はできないのが当たり前という意識で接していますか。
- 子どもの考えや意見等を、まず認めて価値付けていますか。
- 子どもが、先生に「見守ってもらっている」「理解してもらっている」と思えるように、日常の声かけや支援を工夫していますか。



### ☆ 子どもの間違いは宝です！

- 子どもの間違いを共感的に受け入れていますか。
- 子どもたちの間違いを生かすことにより、「みんなの役に立てた」という充足感をもたせていますか。

### ☆ 集団の中で成長を実感させましょう！

- 学習課題にみんなで最後まで粘り強く取り組み、解決したり、みんなで一つのものを協力して作り上げるなどの経験をさせ、集団の中で成長していく大切さに気付かせていますか。



### ☆ 安心して学べる学級・学習集団には規律があります！

- 授業で子どもたち全員が気持ちよく学ぶためのルールを明確にしていますか。
- 子どもたちに「なぜ」「どのように」それをするのか等、ルールの意味を理解させていますか。
- 子どもが規律を破ったときや、子どもが表現したものに対して、周りが冷やかしたり、笑ったりしたときには、毅然とした指導をしていますか。

うなずいて話を聞いてくれるから話しやすいね。  
安心して何でも話せるね。

### ☆ 子どもを褒めたり認めたりする方法を考えましょう！

- 褒めて伸ばすことの大切さを意識していますか。
- 子どもの結果だけを見るのではなくプロセスを大切にし、その努力を褒めていますか。
- 子どものちょっとしたよい変化や見えない努力を、見逃さず褒めようとしていますか。
- 直接褒めることに加えて、他の教師を通して間接的に褒めたり認めたりしようとしていますか。

教師の意識改革が  
「学級・学習集団づくり」のカギ



〇〇さん、この文章  
表現がすごくいいね。